

アート夢プロジェクト 親子で芸術鑑賞

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

劇団風の子九州による「このゆびと～まれ！」の観劇を通して、新型コロナウイルス感染症の影響によって子供たちの心に生じた様々なストレスの軽減を図り、明日への活力を養う事業として実施する。

○ 実施期間

令和2年11月23日（月） 日帰り

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

30名／150名

○ 活動プログラム

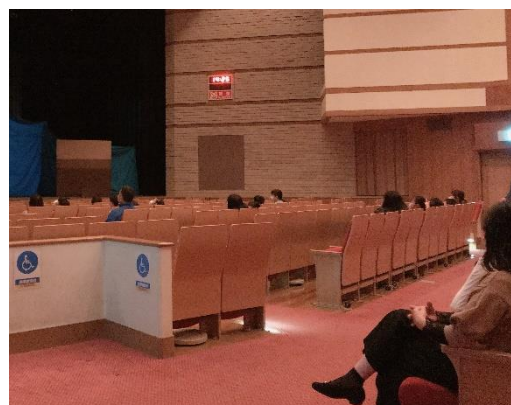
13:30	開場
14:00～14:10	開会行事
14:10～14:20	ワークショップ
14:25～15:45	公演「このゆびと～まれ！」
15:45～16:00	閉会行事
16:10	解散

2. 活動の様子

室戸市内の小学生及びその保護者を対象とし、劇団風の子九州による演目「このゆびと～まれ！」の公演を日帰り事業として実施した。

最初に行ったワークショップでは、劇団員の指導のもと、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、大きな声を出したり、隣の人と触れ合ったりすることがない手遊びを用いた簡単なゲームを行った。活動中、劇団員と参加者が一体となり、夢中に手遊びに興じる姿が見られた。

演劇「このゆびと～まれ」では、空想の世界で思いっきり遊ぶ主人公の姿を見ていた参加者から、歓声や笑いが起きたり、登場人物の成長する姿に感動したりする様子が見られた。



3. 事業の成果と課題

○参加者の感想

- ・ おもしろい場面、感動する場面がいろいろあり、とても楽しい気分になりました。(児童)
- ・ 最初、かいぞくが本当にやっているかと思いました。おもしろかったです。(児童)
- ・ はじめて劇をみました。参加してよかったです。見てない人はもったいない。(児童)
- ・ 歌やセリフがすごく大きな声で聞きやすかった。迫力があつた。(児童)
- ・ ヒロとまもるが冒険に出かけ、空想玉を取りに行く場面や最後に全員で歌うところが「いいなあ」と思いました。(児童)
- ・ すごくおもしろかったです。友情について勉強になったと思います。ありがとうございました。また、機会があれば参加してみたいと思いました。(保護者)
- ・ 劇をみる機会が室戸ではなかなかないので、貴重な経験ができました。これからも色々催してほしいです。子供も喜んでいました。(保護者)
- ・ とてもいい企画だったので、もっとたくさんの人にも参加してもらえたらよかったです。参加できてよかったです。(保護者)
- ・ 近場でこのような催しをもっとあればいいです。(保護者)
- ・ 素晴らしい。楽しかったです。コロナ禍で大変なことばかりですが、今後も活動を頑張ってください。(保護者)
- ・ 子供には少し長く感じたかもしれませんが、最後はとても喜んでいました。なかなか劇をみる機会もないので連れてこれてよかったです。もっともっと友達を誘えば良かったです。ステージの迫力など、家に帰ってもたくさん話がはずみそうです。(保護者)

○事業の成果

- ・ アンケート結果から、参加者30名のうち、27名から満足、3名からやや満足の評価を得ることができたように、参加者の満足度は高かった。
- ・ コロナ禍で活動を自粛する傾向が強まり、ワクワクドキドキする機会が減っているが、観劇の事業を実施することで子供たちに普段体験することがない貴重な時間を提供することができた。

○事業の課題

- ・ コロナ禍の中での実施ということで、地域を限定して募集した結果、定員を大幅に下回る参加者となった。参加者の感想にもあるように室戸市は観劇をする機会がこれまであまりなかったということも分かったので、それを踏まえた広報の仕方を工夫する必要がある
- ・ 地元の小学校からの各事業への申込状況は芳しくなく、募集対象地域を室戸市限定とした場合、今後もこのようなことが予想される。ゆえに、自然の家が催す事業に対する関心を高める地道な取り組みがこれからも必要であると考えられる。